

山本東次郎 著

新編 狂言のことだま

— 日本の心 再発見 —

新刊発売

2022年12月12日

本体価 2,500円 (税別)

ISBN978-4-86670-103-5 C1074

発行 クレス出版

新編

狂言
の
ことだま

日本の心 再発見

山本東次郎

—— 慈雨のような、泉のような ——

選び抜かれ磨き上げられ、少な少なに使われる狂言の科白。その背景には深い人間の心理がある。伝統を背負い、繋ぐという宿命の中で昭和・平成・令和を生きて来られた東次郎師の思いと知見は、読む人の心を慈雨のように潤し、泉のように力を湧かせる、もう一つの「ことだま」になるだろう。

近藤ようこ (漫画家)

クレス出版

表紙カバーデザイン 山本東次郎家蔵「黒地達磨木菟模様素袍上下」より

山本東次郎 YAMAMOTO Tojiro



昭和12(1937)年生まれ。大蔵流狂言方。三世山本東次郎の長男。昭和17年11月「痲痺(しびり)」のシテで初舞台。昭和27年9月「三番三」、33年12月「釣狐」、46年「花子」を抜く。昭和47年5月 四世山本東次郎を襲名。平成4年度 芸術選奨文部大臣賞。平成6年度 観世寿夫記念法政大学能楽賞。平成10年 紫綬褒章。平成13年 エクソンモービル音楽賞(邦楽部門)。平成19年 日本芸術院賞。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)。令和4年 旭日中綬章。日本芸術院会員。文化功労者。一般財団法人杉並能楽堂代表理事。

慈雨のような、泉のような

選び抜かれ磨き上げられ、少な少なに使われる狂言の科白。その背景には深い人間の心理がある。伝統を背負い、繋ぐという宿命の中で昭和・平成・令和を生きて来られた東次郎師の思いと知見は、読む人の心を慈雨のように潤し、泉のように力を湧かせる、もう一つの「ことだま」になるだろう。

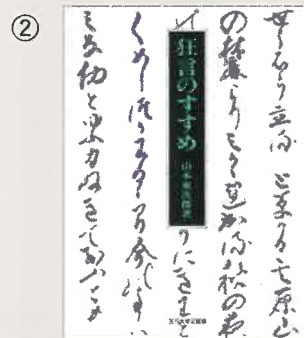
漫画家 近藤ようこ

- I 能と狂言** 能と狂言、一見異質なものが同じ舞台にある謎を探る
 狂言の芸の本質とその伝承を、「あはれ」と「をかし」の対比、舞と謡の技術、様々な口伝や父祖の書き残した資料をもとに縦横に語る。
- II 狂言という心理劇** 簡潔な構成の中に細やかな心の動きを描きつくす
 「附子・棒縛・樋の酒」「粟田口」「入間川」「名取川」「船渡聲」「伊文字」「靱猿」「花子」など、人気曲を題材に狂言の神髄を語る。
- III 間狂言の役割** 夢幻の世界を現実には繋ぎとめる狂言方の役割
 「姨捨」「石橋」「一角仙人」「黒塚」「道成寺」「夜討會我」「烏帽子折」「船弁慶」「嵐山(替間)猿聲」などの間狂言を通して、能における狂言方の役割を語る。
- IV 三番三** 瑞穂の国の安穏と豊穡を祈る狂言方の舞
 国土の安穏を祈る『翁』において狂言方が演じる三番三。その舞を「稲の精霊の舞」と喝破した著者が、その過酷な稽古の有様を通して、芸能の意味を真摯に問う。
- V あすへの話題** 日常の些事を通して芸の世界の機微に触れる
 日本経済新聞に掲載されたエッセイから、「餅と酒」「梅が香に昔を問えば」「替わり武悪」「師の求めたるところを求めよ」「アドの美学」など26篇を収録。
- VI 創作の楽しみ** 能の創作を通して「能の狂言」の姿を追い求める
 能に対する深い造詣が実を結んだ新作能『伽羅沙』と『道灌』に加え、新作舞囃子『梅橘』を収録。

東次郎の本



① 中・高校生のための狂言入門
 平凡社ライブラリー
 1,200円（税別）



② 狂言のすすめ
 玉川大学出版部
 1,800円（税別）



③ 山本東次郎家 狂言の面
 玉川大学出版部
 15,000円（税別）

ご注文方法

インターネット

クレス出版

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5

Tel 03-3808-1821 Fax 03-3808-1822

E-mail info@kress-jp.com

http://www.kress-jp.com/

右のQRコードから書籍専門のWebストアに移動できます



FAX

FAX 03-3384-6970 大蔵流狂言山本事務所宛

| | | |
|-------------------|-----|-----------------------------|
| 『新編 狂言のことだま』 ご注文書 | | ISBN978-4-86670-103-5 C1074 |
| お名前 | 通信欄 | |
| ご住所 〒 | | |
| E-mail | | |
| ご注文数 冊 Tel | | |